

令和 7 年度 帯広マイトリリー 地域連携推進会議

日時：令和 7 年 12 月 9 日（火）13:00～

場所：帯広マイトリリー 食堂

【 次 第 】

1. 開会

- ・開会のご挨拶 （帯広マイトリリー施設長 林 哲史）

2. 構成員

- ・出欠確認及び自己紹介

3. 協議題

1) サービスの透明性・質の確保について

- ・当事業所（帯広マイトリリー）の紹介
- ・当事業所の BCP（事業継続計画）
- ・事業所（グループホーム）見学…さつき、かえで、みずき、ぽぷら

2) 利用者の権利擁護について

- ・令和 7 年度上半期 苦情要望、事故、ヒヤリハット発生状況
- ・利用者の権利擁護に関する取り組み

4. 意見交換

5. 閉会

開会のご挨拶

帯広マイトリー
施設長 林 哲史

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素より当事業所の運営にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、この「地域連携推進会議」は、そのサービスの性質上、外部の目が届きにくいとされております居住系サービス(障害者支援施設、及び共同生活援助)において、地域と事業所が連携することにより、サービスの透明性・質の確保、利用者の権利擁護等を推進することを目的として、令和6年4月より開催が義務化された新しい会議体となります。

本日は、ご多忙にも関わらず本会議にご出席を賜りましたことに改めて感謝申し上げますと共に、地域福祉に携わる関係者が一堂に会する大変貴重な機会となりますので、事業所と致しましても皆様からの忌憚のないご意見を頂戴したく是非とも積極的なご発言を賜りますようお願い申し上げます開会のご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願い致します。

謹白

出欠確認及び自己紹介

帯広マイトリー地域連携推進会議 構成員(※敬称略)				
区分	所属	役割等	氏名	出欠
地域企業	十勝ロジリード株式会社	利用者担当	平澤 篤也	
	セブンイレブン帯広大正町店	オーナー	富士田伸介	
地域団体	大正地区ノーマライゼーション推進委員会	会長	山田 和博	
	大正本町第4丁目町内会	会長	筒井 洋一	
行政	帯広市障害福祉課	係員	中村 一優	
		係員	島津 功誠	
保護者	帯広マイトリー保護者会	幹事	西明 一二	
利用者	帯広マイトリーGH ぽぷら	利用者	矢上 光二	
施設	帯広マイトリー	施設長	林 哲史	
		支援係長	辺見 梢	
		サービス管理責任者	高田 優樹	
		生活支援員	石原 愛華	
		生活支援員	瀬瀬麻由子	

当事業所（帯広マイトリー）の紹介

① 沿革

年月	出来事
平成9年4月	「帯広はちす園 通勤寮」（定員26名）開設
〃	「グループホームかしわ」開設
平成12年10月	「グループホームみずき」開設
平成13年4月	通勤寮「帯広マイトリー」に名称変更
平成14年4月	「グループホームぼぶら」開設
平成18年10月	「グループホームさくら」帯広はちす園から移管
平成23年4月	「グループホームかえで」開設
平成23年7月	「ケアホームさつき」開設
平成24年3月	「ケアホームつばき」開設
平成24年4月	新事業体系移行に伴い通勤寮「帯広マイトリー」廃止 共同生活援助「帯広マイトリー（グループホームけやき）」開設
平成25年3月	「グループホームりあん」開設
平成25年9月	「グループホームみずき」移転新築
平成28年3月	「グループホームぼぶら」移転新築
平成29年2月	「グループホームさくら」移転新築
〃	「グループホームかしわ」移転新築

② 利用者数

ホーム名	定員	障害程度	備考
けやき A	5名	軽度～中度	夜勤者配置（24h対応）
〃 B	5名		
〃 C	4名		
つばき A	6名	中度～重度	夜勤者配置（24h対応）
〃 B	6名		
さつき A	6名	重度～最重度	夜勤者配置（24h対応）
〃 B	6名		
かえで	6名	軽度	
さくら	4名	軽度	※女性専用
かしわ	4名	軽度	
ぼぶら	4名	軽度	
みずき	4名	軽度	
りあん	4名	軽度	
合計	64名		

③ 職員数

役職種	人数	備考
施設長	1名	
支援部門長（支援係長）	1名	
サービス管理責任者	2名	
生活支援員兼世話人	10名	
事務員兼世話人	3名	
世話人	33名	（内、23名が近隣住民）
夜勤専門員（現在、絶賛募集中！）	10名	（内、9名が近隣住民）
合計	60名	

④ 利用者の日中活動の場

区分	勤務（利用）先	人数	備考
一般就労	十勝ロジリード（大正町）	25名	
	島田養鶏場（中札内村）	1名	
	共成レンテム（愛国町）	1名	
	高橋精肉店	1名	
	トータルフーズ	1名	
	帯広至心寮	1名	
	帯広慈恩の里	2名	
	帯広慈光学園（大正町）	1名	
	帯広はちす園（大正町）	1名	
	合計	34名	
福祉サービス	帯広慈光学園（生活介護）	11名	
	帯広はちす園（就労継続B）	10名	
	帯広やわらぎ園（生活介護）	2名	
	合計	23名	

⑤ 主な地域交流

大正地域食堂「ほっこり」	毎月、職員2名が調理ボランティアとして参加させていただいております。
大正地区環境美化活動	毎年5月、職員と利用者で施設近隣及び大正本町を中心に環境美化（ゴミ拾い）活動を行っています。
大正地区ノーマライゼーション推進委員会との連携	昨年8月、大正地区ノーマライゼーション推進委員会による「0815障害者グループホーム支援プロジェクト」に協力させていただきました。委員の皆様へ直接グループホームを訪問いただき、お盆に帰省せずホームにいる利用者に差し入れ（軽食、お菓子、飲料等）をいただきました。
大正農協メークイン祭り	毎年9月、職員と利用者とお祭りに参加し住民の皆様との交流の機会とさせていただいております。
大正神社秋祭り	毎年9月、利用者がお祭りに出掛けて住民の皆様との交流の機会とさせていただいております。
地域連携推進会議	毎年11月（※昨年度より実施）、会議を開催して関係者間の情報共有・意見交換の機会とさせていただいております。

⑥ 今後の取り組み

地域交流の拡充	上記以外の既存の地域行事への参加、及び地域の各種企業・団体等との連携強化。
災害時の相互協力	大規模災害発生時の『福祉避難所』としての役割、実際の被災者や要介護者の受け入れ態勢等の情報共有。

当事業所の BCP（事業継続計画）

帯広マイトリリーでは、災害 BCP と感染症 BCP を策定していますが、地域住民との協力が有効とされる災害 BCP について、以下に概略をお示しします。

【災害 BCP】

① 予防

- ・建物、設備等の安全検査
- ・ハザードマップ確認（河川に近いホーム）

② 準備

- ・利用者、ご家族、職員との連絡方法
- ・BCP 訓練（年 1 回…全職員対象、入職時）
- ・避難訓練（年 2 回…利用者対象）…夜間、地震、火災、風水害
- ・消火器訓練（年 1 回）…消防立ち合い
- ・ライフライン寸断時の対応方法
- ・非常持ち出しバック（全利用者分）
- ・非常食の確保（3 食×7 日分）
- ・マニュアルの整備
- ・地域、行政との連携

◎地域との連携推進

災害発生時の地域住民、企業、団体等との相互連携について、この大正地区ではどのようなケースが考えられるのか、またどのような取り組みが有効なのか、「地域連携推進会議」の中で意見交換が出来ればと考えております。

③ 対応

- ・初動対応（利用者の安否確認）
- ・対策本部の設置
- ・職員参集
- ・重要業務の継続（利用者の生命確保）
- ・被災状況の確認
- ・緊急避難
- ・利用者ご家族、職員、関係各所との連絡
- ・地域、行政との連携
- ・記録及び報告

◎行政との連携推進

当施設は、帯広市の「福祉避難所」に指定されていますが、実際に災害時要援護者を受け入れる場合、どのようなケースが考えられるのか、また受け入れに際してどのような準備が求められるのか、「地域連携推進会議」の中で意見交換が出来ればと考えております。

④ 復旧

- ・復旧
- ・BCP の完了

事業所（グループホーム）見学

・さつき A（1F）、さつき B（2F）

入居対象：重度～最重度者（定員A6名、B6名…計12名）

日中活動：生活介護（帯広慈光学園）

夜間対応：24h職員配置

MEMO

・かえで

入居対象：軽度者（定員6名）

日中活動：一般就労（十勝ロジリード、帯広慈光学園）

夜間対応：オンコール体制

MEMO

・みずき

入居対象：軽度者（定員4名）

日中活動：一般就労（十勝ロジリード）

夜間対応：オンコール体制

MEMO

・ぽぷら

入居対象：軽度者（定員4名）

日中活動：一般就労（十勝ロジリード、帯広はちす園）

夜間対応：オンコール体制

MEMO

令和 7 年度上半期 苦情・要望、事故、ヒヤリハット発生状況

① 苦情・要望…3 件

年月	受付内容	対応	経過又は結果
令和 7 年 4 月	利用者 3 名が道路を横並びで歩き、2 名は歩道、1 名は車道を歩いていた。	当該利用者 3 名に口頭注意すると共に、職員が現場で交通ルール及び安全な歩行について実践を交え指導した。	実践を交え指導するも 5 月に同様の事案が発生。(以下参照)
令和 7 年 5 月	4 月同様、利用者 3 名が横並びで歩き、内 1 名は車道を歩いていた。	当該利用者 3 名に厳重注意すると共に、再度職員が現場で交通ルールの遵守、安全な歩行について強く指導した。	5 月～9 月、毎月安全指導を実施した。10 月時点で危険な歩行は見られていない。
令和 7 年 7 月	利用者が店舗敷地内のゴミ集積庫に無断で侵入した。(※警察介入)	当該利用者他に他者の家屋や店舗敷地等に無断で入らないよう指導した。(※当該店舗社長の厚意により不問)	再発防止の声掛けを継続中。10 月時点で同様の侵入行為等は見られていない。

② 事故…5 件

区分	件数	発生状況	対応	経過又は結果
転倒事故 (受診あり)	2 件	利用者が居室内で後ろ向きに転倒し後頭部を床に打ちつけた。受診し頭部検査を受けたが問題なく特段の処置無し。 利用者が居室で飲酒後に洗面所で転倒し口唇を裂傷。受診し 3 針縫合処置を受けた。	グループホームけやき屋内に見守り AI カメラを設置した。 ※今後、重度ホーム(さつき、つばき)にも順次設置予定。	利用者歩行時の声掛けと見守り支援を継続中。
利用者小遣金に関する事故	2 件	職員が利用者小遣金(買物の釣銭)を小遣ポーチではなく医療費ポーチに入れてしまった。 職員が利用者小遣金の不足分(後に充足と判明)を自身の所持金で補填してしまった。	全職員に利用者小遣金の取り扱いルールを改めて指導した。	同様の事故なし
公用車の自損事故	1 件	公用車を車庫から出す際、出口横の鉄製ボールに接触し前側バンパーが破損した。	当該職員に安全運転講習の受講を指示した。	同様の事故なし

③ ヒヤリハット…11 件

区分	件数	発生状況	対応	経過又は結果
転倒ヒヤリ (受診なし)	8 件	利用者の転倒が屋内 7 件、屋外 1 件あったが、いずれも身体に負傷無し。	グループホーム屋内に見守り AI カメラを設置した。	利用者歩行時の声掛けと見守り支援を継続中。
利用者小遣帳に関するミス	2 件	利用者のレシートを他利用者の小遣帳に添付してしまった。 利用者の納品書を他利用者の小遣帳に添付してしまった。	全職員に利用者小遣帳の記入ルールを改めて指導した。	同様の事案なし
通信の不具合	1 件	ネット接続の不具合でオンライン研修に遅刻してしまった。	代替 PC を準備しておくよう改善した。	同様の事案なし

利用者の権利擁護に関する取り組み

帯広マイトリリーでは、利用者の権利擁護を経営計画の第一項に掲げており、最も重要な支援と位置付けております。具体的な虐待防止、身体拘束適正化等の取り組みについて、以下にその概要をお示しします。

① 虐待防止

- ・虐待防止委員会の開催（毎月 1 回）
- ・虐待防止指針の策定及び職員への周知（随時）
- ・虐待防止セルフチェックの実施（四半期毎に 1 回）
- ・虐待防止研修の実施（年 2 回）
- ・新採用職員への虐待防止研修の実施（採用時）

② 身体拘束適正化

- ・身体拘束適正化委員会の開催（毎月１回）
- ・身体拘束適正化指針の策定及び職員への周知（随時）
- ・身体拘束適正化研修の実施（年２回）
- ・新採用職員への身体拘束適正化研修の実施（採用時）

③ 相遇向上

- ・『いつもニコニコ笑顔！明るく元気に挨拶！運動』の実施（通年）
- ・『ホスピタリティー（ホテル帯広マイトリーでございます）運動』の実施（通年）

意見交換

[illegible]